

令和4年9月14日

泉佐野市

第12回 関西3空港懇談会に対する泉佐野市の考え方

泉佐野市としましては、これまで関西国際空港が建設された趣旨・目的・経緯やこれまでの伊丹空港・神戸空港を含めた関西3空港の位置づけを踏まえ、関西国際空港の成長を阻害する規制緩和については、一切認められない立場であります。

今回の関西3空港懇談会では、従来から検討されてきた関西国際空港の年間発着回数の上限を30万回まで引き上げることで合意されると報道がありました。新型コロナウイルス感染症により大打撃を被っている関西国際空港の現状からすれば、発着回数30万回は「捕らぬ狸の皮算用」で、机上の空論であり、発着回数の引き上げよりも、まずは、コロナ禍前までの早期回復を地元として切に願うところであります。

今回、発着回数を30万回に引き上げることの背景には、空域を確保するための新たな飛行ルートの設定など、兵庫県との調整があり、そのために、神戸空港の発着回数のさらなる拡大や国際化を認めることは、将来的に関西国際空港の需要が阻害されるのは間違いのないことで、泉佐野市としましては甚だ遺憾であります。

本件連絡先

泉佐野市 市長公室 政策推進課

担当：松下、福井

電話：072-463-1212(内線 2426・2428)